

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 矢部3丁目ビル新築工事	階数	地上5F
建設地	相模原市中央区矢部三丁目99番10外	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	85人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年3月24日
敷地面積	1,640㎡	作成者	有限会社アイシー設計
建築面積	611㎡	確認日	2018年3月24日
延床面積	2,580㎡	確認者	有限会社アイシー設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	第1種住居地域に建つ共同住宅として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。	その他 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	① 界壁の遮音性能Dr-55、床の遮音性能Lr-45を目標としている。 ② 住戸の昼光率=2.0%以上 ③ カーテンと庇を組み合わせてグレアを抑制している。	<b>Q2 サービス性能</b> ① バリアフリー新法の一般義務基準を確保している。 ② 壁: ビニルクロス(20年)、天井: ビニルクロス(30年) ③ 階高=2.9m以上
<b>LR1 エネルギー</b>	① 断熱等性能等級4 ② 一次エネルギー消費量率=0.81	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし。
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ① 緑化や空地率の削減等への取組みで、敷地内の温熱環境の向上を行っている
		<b>LR3 敷地外環境</b> ① ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=84% ② 光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設置しない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される